

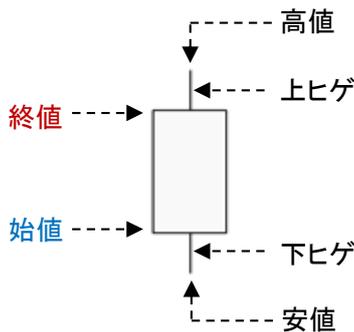
ローソク足の基礎①

～基本的な見方から売買サインの見極め方まで～

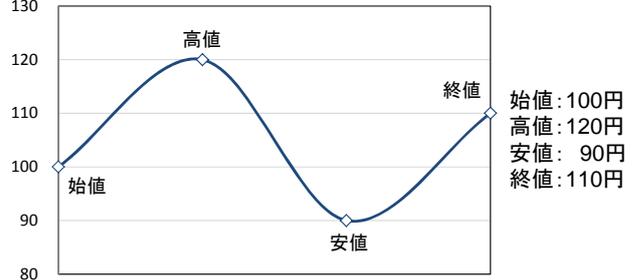
●ローソク足の基本の見方

まずはじめに、ローソク足の基本的な見方をご紹介します。ローソク足は、1本で1日の取引時間中の株価の値動きを表しており、大きく分けて陽線と陰線の2パターンに分類されます。始値よりも終値の方が高い場合を陽線と呼び、ローソク足は白色で表されます。一方、始値よりも終値の方が低い場合を陰線と呼び、ローソク足は黒色で表されます。また、上ヒゲと下ヒゲの長さから日中の高値と安値を読み取ることができます。日中、株価が大きく変動すればローソク足は長く伸び、小動きであれば短いローソク足が形成されます。このように、ローソク足の形をみることで、その日の株価の推移をおおよそ把握することが可能です。

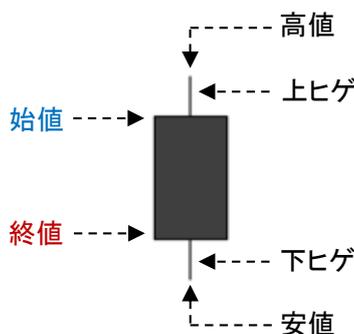
陽線(始値より終値が高い)



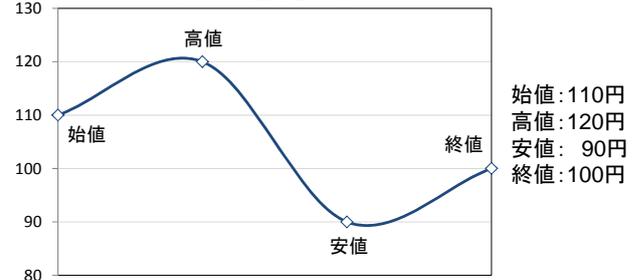
日中の値動きの例



陰線(始値より終値が安い)



日中の値動きの例



ローソク足の基礎①

～基本的な見方から売買サインの見極め方まで～

●ローソク足の種類

ローソク足は、陽線・陰線の種別のほか、ヒゲの長さ等によりさまざまな形が作られます。それぞれの形には名前が付けられており、その形により投資家の強気・弱気のサインを見極めることが可能です。言い換えれば、今後の株価の動きを占う上でも重要な指標の一つであり、株式の売買のタイミングを探る一手として活用することが出来ます。

陽線

ローソク足									
名称	大陽線			小陽線		下影陽線		上影陽線	
	丸坊主	大引け坊主	寄付き坊主		コマ		カラカサ		トンカチ
特徴	上昇一辺倒で強気のサイン	一時マイナスに転じるも高値引け。強気のサイン	基本的に強気のサインだが、高値圏での出現には注意したい	買い方の強さを表す	様子見姿勢の強さを表す	底堅さの表れ	売り一巡。下落基調のなかでの出現は株価反転の兆しに	底堅いが上値の重たさも目立つ	一時的に上げ幅を拡大するも持続せず

陰線

ローソク足									
名称	大陰線			小陰線		下影陰線		上影陰線	
	丸坊主	大引け坊主	寄付き坊主		コマ		カラカサ		トンカチ
特徴	下落一辺倒で弱気のサイン	安値からはやや戻すも売り圧力の強さを表す	一時プラス圏に浮上するも売りが優勢に。売りのサイン	売り方の強さを表す	様子見姿勢の強さを表す	上値の重たさを表す	安値圏で出現すれば反転の兆しも、高値圏では警戒感の表れ	底堅いが、やや売りが優勢	高値圏で出現すれば買い一巡のサイン。下落に転じる可能性

ローソク足の基礎①

～基本的な見方から売買サインの見極め方まで～

その他

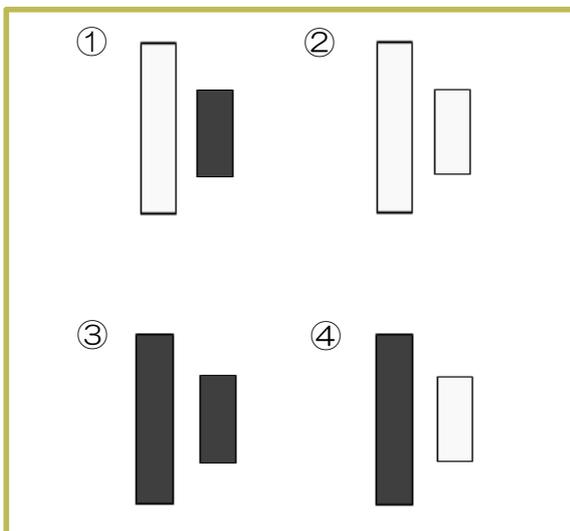
ローソク足				
名称	寄引同事線			
	トンボ	トウバ (塔婆)	十字線	四値 同事線
特徴	反転も 圏で出現すれば株価	一時的に売り圧力が 強まるも、買戻しが 入ったケース。安値	売り圧力に押し戻さ れた形。高値圏では 売りのサインとなる	様子見姿勢の強さを 表す。転換を示唆。

●複数のローソク足を組み合わせたパターンからみる売買のタイミング

ローソク足は、1本のみでも今後の株価推移を推測するのに役立てることが出来ます。ただ、それよりもさらに長い視点で、数営業日分のローソク足が形成するパターンにも注目することで、より正確な分析を行うことも可能です。

2本のローソク足から形成されるパターン

はらみ線



2本のローソク足を見た時、前のローソク足（1本目）の方が長く、次のローソク足（2本目）が包まれているパターンを「はらみ線」と呼びます。

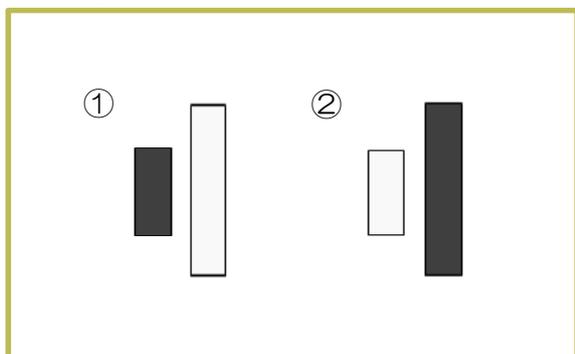
①や②が高値圏で出現すれば、天井が意識されていることを示唆します。前のローソク足が陽線であれば、次のローソク足は陽線・陰線いずれの場合も意味合いは同じです。

③や④が安値圏で出現すれば、底が意識されていることを示唆します。前のローソク足が陰線であれば、上記同様、次のローソク足は陽線・陰線いずれの場合も意味合いは同じです。

ローソク足の基礎①

～基本的な見方から売買サインの見極め方まで～

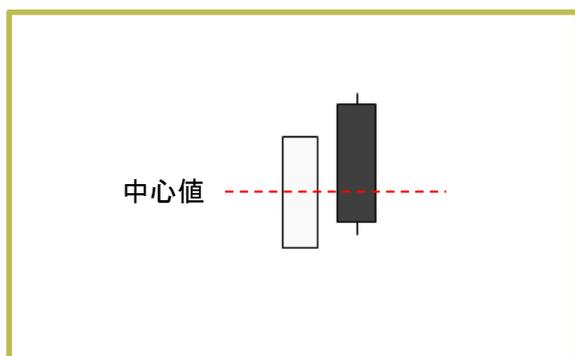
包み線



「はらみ線」とは逆に、前のローソク足が短く、次のローソク足が包み込んでいるパターンを「包み線」と呼びます。株価動向を占う上で重要視されるのは左記の2パターンです。

- ①陰線を陽線が包み込む「陽線包み線」
下落基調の時は、上昇に転じるサイン。
- ②陽線を陰線が包み込む「陰線包み線」
上昇基調の時は、下落に転じるサイン。

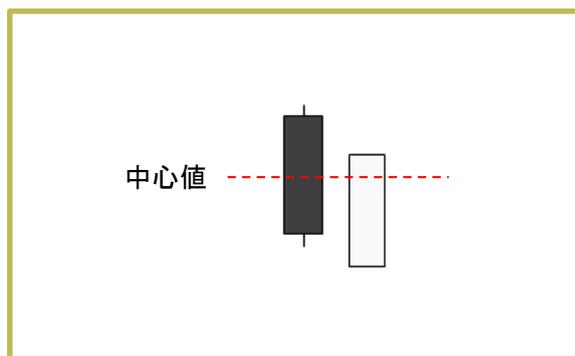
かぶせ線



大陽線をつけた日の終値よりも翌日の始値が高かったものの、下落に転じ大陽線の範囲内で取引を終えた場合を「かぶせ線」と呼びます。

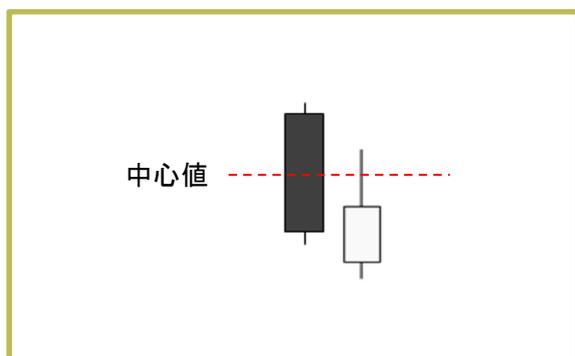
2日分のローソク足を1本で表すと、トンカチ（P.2参照）になるため、売り圧力の方が強いと考えられます。

切り込み線



大陰線をつけた翌日にその中心を超えて大陽線をつけた場合を「切り込み線」と呼びます。大陰線をつけた日の終値よりも安く始まった後、上昇に転じていることから別名「切り返し線」と呼ばれることもあります。上昇基調継続のサインです。以下の「差し込み線」と「入り首線」とは、2本目の終値と1本目の中心値との距離で区別します。

差し込み線

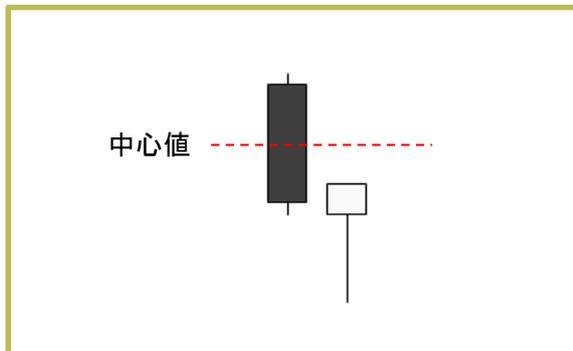


「切り込み線」と似ていますが、大陰線をつけた翌日に、上ヒゲだけが中心値を上回っているのが「差し込み線」です。前日の中心値を一時的に上回ったものの、その力強さが持続しなかったことを表しています。下落基調の時はトレンド維持、上昇基調の時は上値の重い推移が予想されます。

ローソク足の基礎①

～基本的な見方から売買サインの見極め方まで～

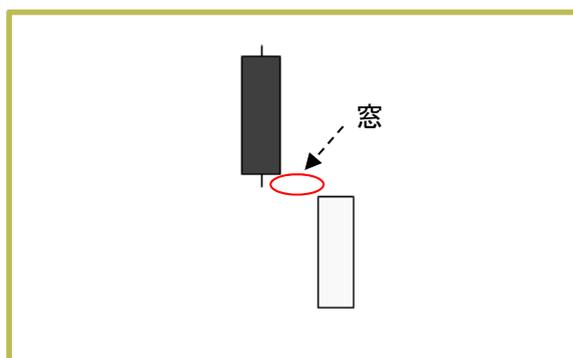
入り首線



大陰線をつけた日の終値よりも翌日の始値が安く、終値も大陰線の中心値まで届かなかった場合を「入り首線」と呼びます。

大陰線をつけた翌日の動きが中心値からどれだけ距離があるかをみることで、買い向かう力の強さを見極めます。よって、「切り込み線」や「差し込み線」と比較すると買い向かう力は弱いと言う事が出来ます。

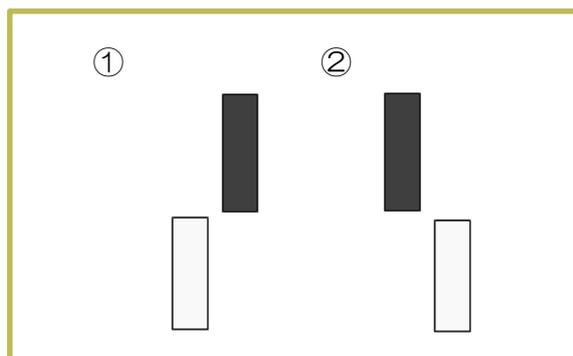
あて首線



大陰線をつけた翌日に窓を開けて一段安の水準で始まり、取引時間中に上げ幅を拡大させたものの大陰線をつけた日の安値に届かなかった場合を「あて首線」と呼びます。

売りと買い勢力がそれぞれ拮抗していることを表しますが、2日分のローソク足を1本で表すと大陰線になることから売り圧力の強さの方が強いと言えます。

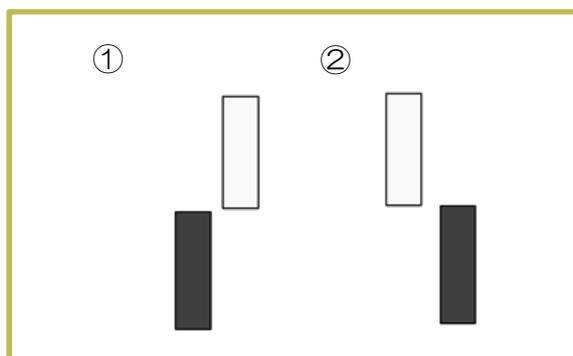
出合い線



大陽線もしくは大陰線をつけた翌日、大きく窓を開けて取引を開始したものの、結局前日の終値付近で取引を終える場合を「出合い線」と呼びます。

①は売り、②は買い圧力に押されていることを表します。

振り分け線



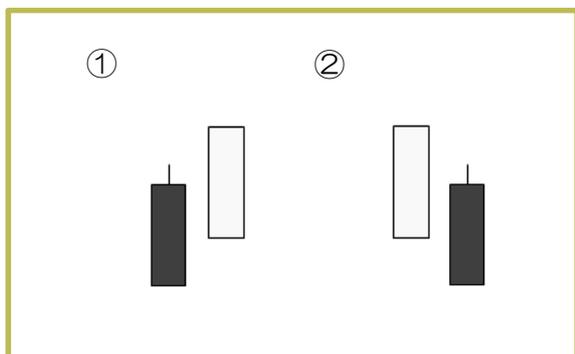
「出合い線」と似ていますが、大陽線もしくは大陰線をつけた日の始値と翌日の始値がほぼ同じ水準だった場合を「振り分け線」と呼びます。

上昇基調のなかの①は買いのサイン、下落基調の中の②は売りのサインとされます。

ローソク足の基礎①

～基本的な見方から売買サインの見極め方まで～

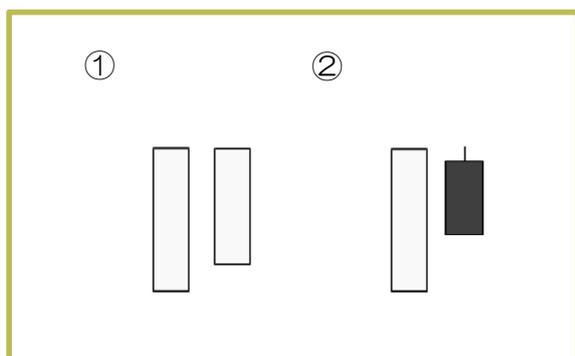
たすき線



陰線をつけた翌日に高寄りしてスタートし、終値が前日の高値を上回って取引を終えた場合（①）や、陽線をつけた翌日に安寄りしてスタートし、前日の安値を下回って取引を終えた場合（②）を「たすき線」と呼びます。

下落基調での①は売りのサイン、上昇基調での②は買いのサインです。それぞれ、逆のサインと勘違いしやすいため、注意が必要です。

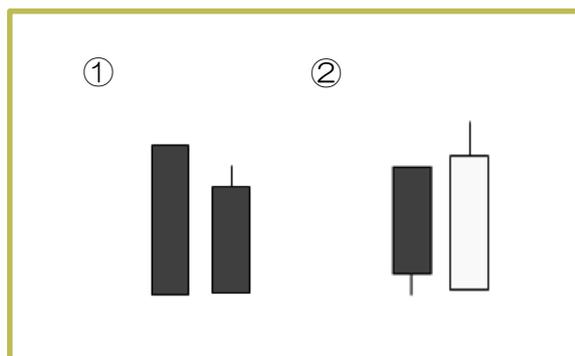
毛抜き天井



2営業日の高値がほぼ同じ水準の場合を「毛抜き天井」と呼びます。陰線・陽線の組み合わせは問いません。

高値圏で現れれば天井が意識されているサインです。

毛抜き底



「毛抜き天井」とは逆に、2営業日の安値がほぼ同じ水準の場合を「毛抜き底」と呼びます。陰線・陽線の組み合わせは問いません。

安値圏で現れればそこが底値として意識されるサインです。

以上が2本のローソク足から予測できる売り買いの主なサインです。勿論、必ずしもこの通りに動くことばかりではありませんが、株価の値動きを占う上で参考にすべき指標の一つです。また、2本のローソク足のパターンよりさらに正確性の高い3本以上のローソク足から成るパターンもあります。「酒田五法」という古くから伝わる分析手法を用いたもので、次回の「ローソク足の基本②」でご紹介します。

重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ (<http://www.okasan.co.jp/>) をご参照ください。

地域別の開示事項

日本:

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書及びその補完書面)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<有価証券や金銭のお預りについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預けになる場合は、1年間に3,240円(税込み)の口座管理料をいただきます。加えて外国証券をお預けの場合には、1年間に3,240円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、当社が定める条件を満たした場合は当該口座管理料を無料といたします。

なお、上記以外の有価証券や金銭のお預りについては料金をいたしません。さらに、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,480円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株式>

・株式の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.242%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.242%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.35%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債券>

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。

・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ではありますが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.08%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。
お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.78%(税込み))
保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.2312%(税込み))
換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)
その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.242%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

- 自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。
- 平成49年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

香港:

本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亜洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亜洲)有限公司にお願いします。

米国:

本レポートは岡三証券が作成したものであり、1934年米国証券取引所法に基づく規則15a-6に規定される米国主要機関投資家のみには配信されたものです。岡三証券は、米国内における登録業者ではないため、米国居住者に対しブローカー業務を行いません。本レポートで言及されている銘柄の売買注文は、アーバック・グレイソン社を通して執行いたします。

なお、本レポートは、受領者及びその従業員が使用することを目的として配信しております。

さらに、本レポートのアナリストは米国で活動をしていないため、米国のリサーチ・アナリストとして登録されておらず、資格も有していません。また、当該アナリストは、アーバック・グレイソン社または他の業者の関係者ではありません。したがって、当該アナリストは、米国金融規制機構(FINRA)規則の適用の対象ではありません。

その他の地域:

本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。

地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

(2017年7月改定)